

2025年（令和7年）12月13日 土曜日

デーリー東北9面 掲載

今月23日から来年1月6日まで大阪府などで開かれる第34回全日本大学女子サッカー選手権（インカレ）に、八学大が挑む。出場は今回で11年連続11度目。昨年は初の全国1勝を手にしており、さらなる上位進出に向けて闘志を燃やしている。

八学大は9、10月に開かれた、3チームによる東北地域リーグの初戦で、東北公益文科大に2-10で勝利。仙台大との

最終戦では2-3で惜しくも敗れたが、東北第2代表として全国への切符を手に入れた。

12日、高見啓太監督と選手3人が八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に出場を報告。佐武ほのか主将は「1勝はもちろん、その先を見据えて戦ってきたい」と意気込みを語った。八学大は24日、1回戦で静岡産業大（東海第2代表）と対戦する。

（小嶋嘉文）

八学大女子サッカー部

## 上位進出へ闘志

インカレ出場、市長に報告



全国大会へ向けて意気込む八学大の選手ら

デーリー東北新聞社提供